



謹賀新年

新年あけましておめでとうござい
ます。昨年中は、三好市政の推進に
温かいご支援とご協力をいただき、
厚くお礼申し上げます。

昨年は、長引く新型コロナウイルス
感染症対策に加えて、燃料・資
源価格の高騰や円安による物価高騰
が、市民生活や地域経済に大きな
影響を与えた一年であったと思いま
す。市としても、感染拡大防止と
もに、市民の皆様の命と生活を守る
ため、多岐にわたるきめ細かい支援
や市独自の施策などを早期に取り組
んでまいりました。

一方で、昨年のお盆は規模縮小で
はありましたが3年ぶりに「いけだ
阿波おどり」を開催し久々にまちな
かに賑わいが戻ったことや、外国人

観光客受け入れの再開など、コロナ
前へと回復の兆しがみえつつありま
す。また、本市の「西祖谷の神代踊」
を含む「風流踊」が、ユネスコ無形
文化遺産に登録が決定されるという
嬉しいニュースもありました。

さて、現在の三好市を取り巻く社
会情勢は、コロナ禍に加え、急速に
進む人口減少や少子高齢化、頻発化
激甚化する災害への対応など、取り
組むべき大きな課題を抱えており、
今後の見通しが不透明な状況となっ
ています。そうした状況を打開する
ため、アフターコロナの社会を視野
に入れ、行政のデジタル化の加速や、
気候変動を抑えるための脱炭素化、
エネルギーの地産地消などによる持
続可能な社会づくりが求められてい

ると思えます。

本市は2021年12月にゼロカー
ボンシティを宣言していますが、脱
炭素社会を推進し、関係人口を増や
していくために、民間企業、市、住
民が一体となり、地域課題と脱炭素
という地球規模の課題解決へと取り
組んでまいります。

また昨年は、これまで取り組んで
きた市役所本庁舎の建設と池田町中
心部のまちづくり計画が、着実に前
進した一年でありました。

新庁舎においては、今後の感染症
対策に資するよう課等の配置見直し
などの変更を経て、議会の承認をい
ただき、昨年9月に建設工事を発注
いたしました。資材の調達をはじめ
厳しい状況にありますが、2024

年には供用開始できるよう、関係者
の皆様のご協力をいただきながら、
引き続き事業を進めてまいります。

池田町中心部のまちづくりでは、
市有地であるサンライズビル跡地
に、市議会との協議を重ね、各種団
体、地域住民の皆様と説明会を行い、
県と共同で、2階3階に池田高校総
合寄宿舎、1階には地域の方々が会
議や生涯学習、イベントなどに使え
る公共施設を整備することとなりま
した。その他の図書館や公民館、多
目的ホールなどの整備についても、
船井電機跡地を利用し、防災減災対
策上の観点、利便性や必要性、地理
的特性、行政コストとサービスの効
率化、人口構造の変化など総合的な
視点で、計画的に進めていきたいと
考えています。財政状況も踏まえ、
できる限り市民の皆様のご要望に応
えられるような充実した施設を、ス
ピード感をもって、しっかりと検討
を進めてまいります。

本年も、三好市職員と一丸となっ
て、市民の皆様を幸福度を上げるた
め邁進してまいります。

皆様のご健康とご多幸を祈り、年
頭のご挨拶といたします。



幸福度の高いまちづくりと 持続可能な地域社会の実現を

三好市長

高井美穂



夢と希望を持ち、安心して 生活できるまちづくりを

三好市議会議長

西内 浩真

市民の皆様、明けましておめでと
うございます。

令和五年の新しい年を迎え、希望
に満ちた輝かしい新春を、皆様方ご
健勝にてお迎えのことと、心からお
喜び申し上げます。

また昨年中は、市議会に対しまし
て皆様方の温かいご指導とご支援を
賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロ
ナウイルス感染拡大に収束の兆しが
見え始め、経済再生に舵を切り始め
たものの、再び第8波の拡大が見ら
れるなど、いまだ予断を許さない状
況にあります。そんななか我が国を

取り巻く環境は、少子高齢化の進行

に加え、中小・零細企業を中心に倒
産や休業等により社会が疲弊してい
くなかで、経済的に困窮する人が急
増。回復傾向と言われる景気につい
ても、ロシアによるウクライナ侵攻
や円安による相次ぐ物価高騰は、私
たちが生活していくうえでは、まだ
まだ厳しい状況にあります。また、
温暖化により巨大化する台風や集
中豪雨等に加え、地震や火山の噴火
など様々な災害が各地で発生してお
り、中央構造線断層帯に位置する本
市にとって極めて懸念される南海ト
ラフ巨大地震には、平常時の危機管
理体制の構築が一層求められている

ところです。

さて、三好市には、大歩危・小歩
危峽谷や祖谷のかずら橋、東祖谷山
村落合重要伝統的建造物群保存地区
など、全国でも有数の観光資源が
あり、「ウォーターズポーツのまち」
を掲げ、ラフティングやウエイク
ボードといった三好市の新しい観光
資源は、より一層の交流人口の拡大
や地域経済への波及効果をもたらし
てきました。しかしながら、コロナ
禍の影響により観光客は激減し、観
光産業を含む市内の事業者は未だ厳
しい状況にあります。このような状
況の中、景気対策として、「GO
TO 秘境三好市トラベルキャンペーン

」をはじめ、市内の事業者や市民
の皆様消費喚起事業を実施し、少
しずつ景気回復の兆しも見えてきた
ところがございます。今後ますます
市内外からのひとの往来も活発にな
り、賑やかさが戻って来ることを大
いに期待しているところでございま
す。

結びになりますが、私ども市議会
といたしましても、市民生活の安定
と、住みよい環境づくりに向けて努
力を重ね、若者が夢と希望を持ち、
安心して生活できる街づくりに取り
組んでまいりますので、今後とも、
市民各位のご支援、ご協力を賜りま
すよう、よろしくご厚い申し上げます。
昨年末にはサッカーのワールド
カップで日本代表が躍動し、コロ
ナ禍で閉塞した社会に大きな希望と
活気をもたらしました。今年も明る
い話題にあふれる1年になるとも
に、市民皆様のご健康、ご活躍を心
より祈念いたしまして、年頭のご挨拶
といたします。